

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	精神障害者入院医療費助成事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	障害者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	小西 和典			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	精神疾患のため入院療養している精神障害者の保護者又は障害者	意図	入院医療費の一部を助成することにより、その経済的負担を軽減し、精神障害者等の福祉の増進を図る。
事業内容	入院医療費が高額で医療費の支払い負担が大きい低所得の世帯に対し、1ヶ月の入院医療費の一部負担額から公的な助成を差し引いた額の4分の1の助成を行う。（月額10,000円を限度）			
事業開始から現在までの状況変化	精神障害者の場合、入院が長期にわたり、入退院を繰り返すケースがある。その入院費については、ほとんどが保護者（親や兄弟等）が負担しており、経済的負担が大きくなっている。そのため、入院費用の一部を助成することで、保護者の経済的負担を軽減し、福祉の向上を図るために開始した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	助成対象者数	27	37	42	人	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	助成事業の周知や精神障害者の増加により、対象者が増加した。対象者の大半が長期の入院となっている状況である。
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,722,950	2,696,700	2,675,000	
事業費(b)(円)	1,693,200	1,689,900	1,686,200	
うち一般財源	1,693,200	1,689,900	1,686,200	
職員給与費(c)(円)	1,029,750	1,006,800	988,800	
人役・職員(人)	0.15	0.15	0.15	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	精神障害者の団体である家族会への周知はできている。障害者福祉の手引き及びホームページで周知を図る。	③取組における課題(Check)	市民に対して制度の周知はされてきているが、引き続きより一層の精神障害者への周知が必要。
②H30に実施した取組(Do)	障害者福祉の手引き及びホームページで周知を図った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	精神障害者保健福祉手帳取得時に障害者福祉の手引きを渡す際に制度について説明し、周知を行う。